

2021 4ST125 クラス車両規則

★ 4st ミッション付き 17 インチ 125cc インジェクション仕様車 (150cc 車両 その他車両については要相談)

下記 : © 2021 関東ロード選手権 桶川スポーツランド様

1. ハンドル / レバー / ステップ / ペダル等のポジション関連部品の改造、変更は可。またそれに伴う不要なステー、フレームの最小限の加工は可。
2. ブレーキに関しては、パッド / ホース / バンジョーボルト / F・R ディスクローターの変更とパッドスプリングの取り外しは可。また、キャリア / マスターガード装着と、それに伴うボルトの変更も可。ただし、その場合のボルト材質は鉄 / ステンに限る。加えて F マスターシリンダーの変更も可とするが、そのピストン径は 9/16(14.3mm) 以下とする。
3. フロントフォークのインナーパーツの改造・変更・追加は可。またトップブリッチ、イニシャルアジャスター、スタビライザーの追加・変更は可。
4. リヤサスペンションの変更は可。また、それに伴うアダプターの使用やリンク及びリンクベアリングの改造・変更は可。また、ストロークセンサーの追加は可。
5. エアクリーナーBOX の改造、変更、取り外しは可。また、ファンネルの使用は可。ただし、取り外すエアクリーナーBOX にブリーザーホースが通っている場合は、別途オイルキャッチタンクを取り付け吸気循環方式処置を施す事。
6. ECU セッティングによる、燃調及びレブリミットの変更は可。また、それに伴う部品 (サブコン) の使用は可。オートシフターに関しては、メーカー純正品のみ 取り付けを認める。GSX-R125 に関しては、WestPower(Special Agent) 製インジェクションコントローラー (Negotiator-I) の使用のみ可とするが、点火タイミングの 変更及びオートシフターの使用は不可とし、取り付けの際はイグニッションコイルへ配線を割り込ませないこと。
7. スロットル / グリップラバー及び、スロットルワイヤー / クラッチワイヤーの 改造・変更は可。ただし、スロットルボディ本体に関しては一切不可。
8. スパークプラグ、プラグキャップ及びイグニッションコイルの変更は可。
9. カウル/タンクカバー/フェンダー等の、フェアリング関連パーツの改造・変更は可。また、それに伴うステーの追加や、フレームの最小限の加工を認める。アンダーカウルはエンジン故障時に備えオイルトレイ形状になっていることが望ましい。
10. マフラーの変更は可。ただし、音量に関しては総合規定に合致している事。
11. チェーン及びチェーンサイズの変更は可。またスプロケットの変更は可。F スプロケットカバーの改造、変更は可とするが、安全性を満たしていないものは不可。
12. タイヤは一般市販されていて、通常ルートで購入できるもののみ使用可。ただし、スリックタイヤ、グルーピング及びカッティングは不可。R11・KR410 及びレインタイヤの使用は可。
13. クラッチスプリング、フリクションディスク、クラッチプレートの改造、変更は可。
14. 燃料ポンプの改造、変更は可。
15. 戦力バランスを考慮しアブリリア RS4 のみ 150cc までのボアアップを認める。
16. ラジエターの改造、変更は可。
17. YZF-R125 と R15 における、給排気バルブの互換性を認める。

なお当クラスは発展途上の為、各機種の戦力バランスを考慮しシーズン中に何らかの規則が追加される場合がある為、あらかじめ注意する事。